

サーキット・ライダー 2003年 5月号

損得抜きで生きられますか？

わたしは柔和で謙遜だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。 マタイ 11:29.

1月からTV-Japanと契約しNHKの放送を楽しんでいます。仕事や勉強で忙しく見る時間は限られていますが、番組作りの技術、プログラムの高質さ、特にドキュメンタリー物や文化紹介には感心することがしばしばです。ずっとアメリカのメジャーネットワークやフジテレビの日本語放送を観ていたので、流石「皆様のNHK」と思ってしまいます。この「皆様…」には異論のある方もおありでしょうけれども、先日何も気なく観ていた「真剣10代しゃべり場」というプログラムで、興味深い自由討論をしていました。この番組は毎週、一人の若者が問題提起をし、それについて8-10人くらいの若者が自分の意見を述べたり、その発題者と議論したりしますが、ここに出てくる10代の子だけを見ると、今の日本の若者もまんざら捨てたもんでもないと思います。

さてその番組で、17歳の男子が「人と損得で付き合うのは良いか？」と発題しました。彼は中学の頃までは、ごく普通に誰とでも損得計算抜きに付き合っていたそうですが、生まれつき障害を抱えていた妹を亡くしたことが切っ掛けで人（彼の友人達）の悪意を知り、思いやりの無い言葉で傷つき、それ以来、人とは自分が得すると思われる相手とだけ付き合うようにしているそうです。この彼の付き合いに、周りにいた参加者達は皆、訝しがり「親友は必要ないの？」とか「寂しいじゃん」とか「損得で付き合っていると知ったら、相手が傷つくよ。」等々、コメントしていました。大人の参加者も一人ゲストで招かれていましたが、その人も「それは处世術じゃないかな？处世術で付き合う人と損得抜きで付き合う人という。それは大人になれば、嫌でもすること。だけど、处世術だけで、付き合うのはどうかな、、、」と本人の経験から語っていました。私はここに出ている子達や大人は真剣に生きている、物事に真っ向から取り組んでいると思いました。テレビの前だからかもしれませんが、それでも、テレビにまで出て話をする子達は、どこに出ても、どのような状況に遭っても大丈夫だろうな、と思いました。

本当の問題はその大人の発言にもあった通り、多くの人が表裏使い分け生きているということ。处世術を賢さと勘違いし、力のあるものには媚び、弱いものには強面にでるということです。自分が得するから特定の人と付き合い、損する或いは、面倒なことになる人とは付き合わない。それは私たちの身の回りで日常茶飯事に繰り返されています。国と国のレベルでも同じ事が起こっています。大国に付き自分の意見を持たない政府があちこちにあります。

上述の若者達の発言にもありましたが、損得で付き合ってくる人達は、それをされる側に回ると良く見えてきます。相手のあからさまな応対に驚いたりもします。私はどうやら実年齢よりは若く見えるらしいのですが、そのお陰で色々学ぶことがあります。特に日本から来られたばかりの方の挨拶に、その人の人柄、处世術が出ていることを感じます。先日も日本から来られたクリスチャンの方（私と同じか、やや年上のご婦人）の挨拶にそれを感じました。私はアメリカに長く住んでいる為か、名刺交換とか、日本的作法が苦手です。ある会合の席でしたが、この方は、日本から来られたということで順番に挨拶に回っておられました。私の他に何人かいたのですが、他の方には名刺を差し出し挨拶を交わしていましたが、私には名刺を下さいませんでした。私の格好も見られたのかもしれませんが。ジャケットにネクタイではなく、ラフな格好だったので。しかし年配で私よりももっとラフな格好をしている方達には名刺を出していたので、恐らくは年齢で区別したのでしょう。失礼の無いように私の方からは名刺を差し上げましたが…

このようなことは良くあることです。特に日本人の中に。クリスチャン、ノンクリスチャンに関係なく、日本の年齢、社会的地位、職業、財産、学歴中心の考え方などの差別構造、处世術的社会構造が反映しているように思います。そういうことを経験するにつけ、そのような处世術はいらない、表裏の無い付き合い方をしたいと思います。誤解の無いように、一言。私は「だから年配の方を敬わないで良い」と言っているのはいりません。年配の方も若年の人達も、その人柄を認め敬うことが大切です。また礼儀をわきまえるのも必要。しかし、それは心からそうするのであって、そうした方が得だからとか、自分の保身の為ではありません。主イエスが弟子達に、私達にそうして下さった。だから私達も同様にすべき、と私は思います。

吉松 純